

# 公開実用 昭和56-65809



止

## 実用新案登録願(4)

昭和54年10月29日

特許庁長官 川能雄 殿

### 1. 考案の名称

ポリエスチルと紙の複合シートよりなる容器

### 2. 考案者

住所 神奈川県横浜市緑区長津田町1398

氏名 岡部光雄 (ほか/名)

### 3. 実用新案登録出願人

住所 東京都新宿区市谷加賀町1-12

名称 (289) 大日本印刷株式会社

代表者 北島織衛

### 4. 代理人

住所 〒162 東京都新宿区市谷加賀町1-12

大日本印刷株式会社内 Tel. 266-2570

氏名 (7258) 弁理士 小西淳美

### 5. 添附書類の目録

(1) 明細書 1通

(2) 図面 1通

(3) 願書副本 1通

(4) 委任状 1通

(5) 出願審査請求書 1通

委任状は 実用新案登録出願 ( ) に添附した  
方式 ( ) ものを採用する。

審査

54 149694

65809

1通  
54.10.30  
1通  
北島織衛

## 明細書

### 1 考案の名称

ポリエスチルと紙の複合シートよりなる容器

### 2 実用新案登録請求の範囲

- (1) ポリエスチルと紙の複合シートよりなる、フランジ付プレス成形容器において、フランジが長手方向に波形形状に成形形状に成形されていることを特徴とするポリエスチルと複合シートよりなる容器。
- (2) ポリエスチルと合成バルブ混抄紙の複合シートよりなることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のポリエスチルと紙の複合シートよりなる容器。

### 3 考案の詳細な説明

本考案はポリエスチルと紙の複合シートよりなるフランジ付プレス成形容器に関する。

ポリエスチルと紙の複合シートよりなるプレス成形紙皿は数年前よりアメリカを中心に出廻り始めたもので、オーブン及び電子レンジの両方に使用できる容器として急速に伸びつつある。

アメリカにおいては上記容器は調理済み冷凍食品を収容したのちトレイシールし、外装はない形態で用いられる場合が多い。

その場合、<sup>外</sup>面が外気に接しており、水分の影響が少ないので、フランジの変形等のトラブルは全くみられていない。

一方、日本においては、上記容器はパン、ベストリ、デニッシュ、惣菜等の包装容器として実用化され始めているが、店頭展示効果、塵埃等の二次汚染防止、流通の簡便性等の理由から、内容物を上記容器で密封包装し、更に、プラスチックフィルムによるピロー包装、ストレチ包装等の外装を施した形態でほとんど用いられている。この場合、外装包装体内は内容食品の含有水分の蒸発により高湿度となり、この水分の影響により紙が伸び、一方、ポリエステルはさほどの伸びを示さないので、伸びの違いにより複合シートの反りが発生する。特にフランジ部は水平のものが垂直に立ち、更にはトレイ内面側に反り返り、それにより著しく容器の外観が損なわれ、且つ内容物が圧迫される。極

端な場合には容器外側にあつた複合シートの紙面が内容物に看くほど形状変形が進み、衛生上好ましくない状態となる。

本考案者は叙上の欠点を解消すべく研究の結果フランジを長手方向に波形形状に成形することにより水分吸収による容器形状変形を完全防止し得ることを見い出し、かかる知見にもとづいて本考案を完成したものである。

即ち、本考案の要旨はポリエスチルと紙の複合シートよりなる、フランジ付プレス成形容器において、フランジが長手方向に波形形状に成形されていることを特徴とするポリエスチルと複合シートよりなる容器である。

以下、本考案につき図面を参照しながら詳細に説明する。

第1図及び第2図は本考案の容器(5)を示して第1図は斜視図、第2図は断面図である。

本考案の容器においては、フランジ(4)が長手方向に波形形状に成形されている。尚、図において(1)は紙、(2)はポリエスチル、(3)は紙とポリエスチルの複合シートを示す。

上記のようにフランジが波形形状に成形されていることにより複合シートの紙の部分に水分が吸収せしめられることによつて発生する容器形状変形は防止又は軽減される。

又、本考案の変形防止効果は、容器をポリエスチルと合成バルブ混抄紙（合成バルブ混抄率<sup>10</sup>5～50%）の複合シートにより構成<sup>こと</sup>によ<sup>う</sup>り更に良好ならしめることができる。

以上詳記した通り、本考案の容器は水分吸湿による形状変形が防止又は軽減されたものであるので、例えばパン、ペストリー、デニッシュ、バウンドケーキ等の生地を容器内に入れてからベーキングしたのち、外装して用いられる包装容器の如き、内容物を収容した状態で更に外装される包装容器として有効に活用することができる。

#### 4 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は本考案の容器を示し、第1図は斜視図、第2図は断面図である。

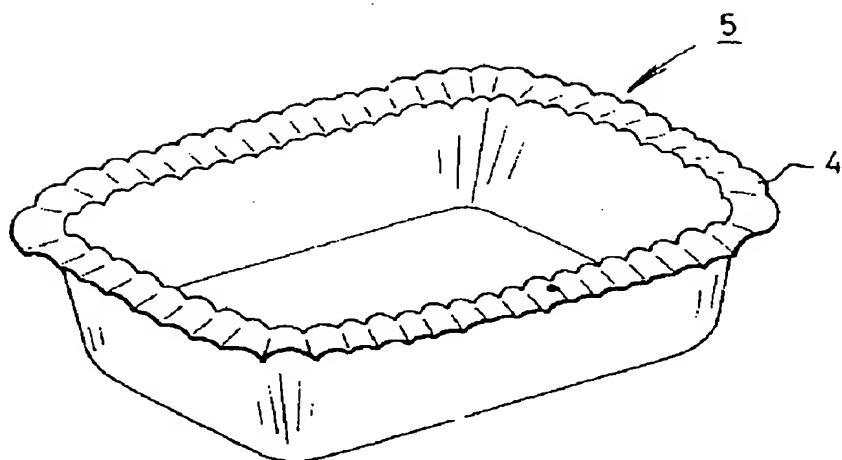
- (1) ..... 紙
- (2) ..... ポリエスチル

(3) ..... 紙とポリエスチルの複合シート  
(4) ..... 波形形状に成形されたフランジ

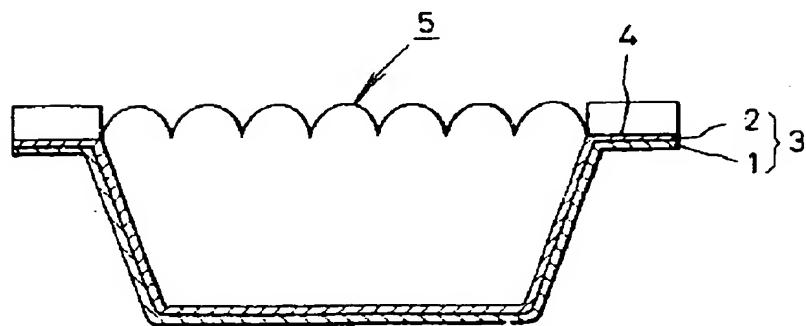
実用新案登録出願人 大日本印刷株式会社  
代理人 弁理士 小 西 淳 美

公開実用 昭和56-65809

第1図



第2図



65809

实用新案登録出願人 大日本印刷株式会社  
代理人 松原太 小西津美

6 前記以外の考案者

住 所 東京都日野市多摩平3の32の6  
氏 名 荻 原 洋 一

65809